

ひかり

2023年5月号



Pentecost

日本聖公会 三光教会

第713号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」(ヨハネによる福音書:20:21)

人生は奇跡

司祭

アモス金

キム

大原

デウオン

「ただ悪い番号に当たっただけで、私は障碍者ではない。私は突然変異であるだけだ。」これは世界的な雑誌『エル(Elle)』の編集長を務めた「ジャン・ドミニク・ボービー」の言葉です。彼は有名なジャーナリストであり、愛情深い父親でありました。ダンディで、いつも良い言葉を使い、ユーモアのある男であり、積極的で前向きな考え方を持つ人でした。誰よりも自由に生きていた彼は、突然、脳出血に襲われ、倒れてしまいました。人生の絶頂期に訪れた最後通牒のようなことでした。

3週間後、意識は戻りましたが、体が麻痺し、自分の力で動けるのはただ左のマブタだけでした。わずか50センチくらい離れたところに座っている息子を抱え込むこともできませんでした。赤ん坊のように退行してしまった体は絶望的とは思えませんでした。

しかし、彼は諦めることができませんでした。愛する二人の息

子を勇気ある者に成長させる責任があるという思いがしたからでした。運命に屈服しないと決断し、自分に残っている可能性に注目しました。幸いと言いましようか、意識は明瞭で自分を省察する内側の力がありました。それで彼は本を書くことにしました。二人の息子に、どんな困難にも決して屈しなかった父親として覚えてほしいと思ったからです。

それは、彼が唯一のコミュニケーション手段である左のマブタを動いてまばたきをする、秘書がそれを見て一つずつアルファベットの書きとめ、次々に文字を連ねて単語を完成させ、文章にする作業でした。15か月間、20万回以上まばたきをして書いた本のタイトルは「潜水服と蝶」です。日本では「潜水服は蝶の夢を見る」と訳して出版されました。「潜水服」は全身麻痺という自分の状態を指し、「蝶」はどこにでも飛んで行きたい自分の意識を象徴する言葉です。全く異質なものが一つの存在の中に共存していることを表したのです。

人間は、愚かなことに何かを失って初めてその大切さに気付か

されることが多いでしょう。ボービーの言葉が心に響き、警鐘の音のように聞こえます。「半ば開いたままの口から流れ続けている唾液を普通に飲み込むことができれば、私は世の中で最も幸せな人の気分になると思う。普通に呼吸をすることほど感動的なことはない。」という言葉で、彼は日常の大切さを訴えているのです。

日常の大切さ、私たちはこれをコロナ禍の中でより強く実感させられました。日常は決して脱すべき桎梏(しごく)ではないのです。この広大な宇宙の中にいないのではなく、存在すること自体が奇跡ではないでしょうか。自分を他人に比べて高ぶったり、いじけたりすることはありません。不平不満をやめ、憎しみや恨みを捨て、与えられたことに驚嘆し、感謝し享受できる力が、私たちにあります。

5月～7月の予定

◆5月

18日(木) 昇天日
21日(日) 復活節第7主日(昇天後主日)
25日(木) 司祭教会博士ビード
26日(金) 主教カンタベリーのオーガストン
28日(日) 聖霊降臨日
31日(水) おとめ聖マリヤの訪問
(夏期聖職按手節)

◆6月

1日(木) 殉教者ジャスチン
2日(金) (夏期聖職按手節)
3日(土) アフリカの殉教者
(夏期聖職按手節)
4日(日) 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日
5日(月) 6月逝去者記念礼拝
殉教者主教ポニフェース
8日(木) 聖餐感謝日
9日(金) 修院長コロンバ
11日(日) 聖霊降臨後第2主日
12日(月) 使徒聖バルナバ日
14日(水) 主教教会博士バジル
18日(日) 聖霊降臨後第3主日
22日(木) 殉教者オルバン
24日(土) 洗礼者聖ヨハネ誕生日
25日(日) 聖霊降臨後第4主日
28日(水) 殉教者主教イレナエウス
29日(木) 使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日

◆7月

2日(日) 聖霊降臨後第5主日
3日(月) 7月逝去者記念礼拝

コロナ禍の下での
礼拝動画配信を終えて

礼拝チーム 吉川 晃

新型コロナウイルス感染症の国内初の感染者が3年前の2020年1月15日に確認され、今年5月8日に漸く季節性インフルエンザと同等の扱いとなり、三光教会の主日礼拝の動画配信も5月7日で終了しました。この間、東京教区では2020年3月8日からの公祷休止に伴い、聖餐式の動画配信を開始し、三光教会も2020年8月2日からYouTubeでの動画配信を限定で公開しました(ライブ参列者数・20～60家族)。三光教会では、当初、情報チームが司式中心で配信し、2020年12月25日の降誕日には奏楽付き(オルガン、チェロ)の動画配信を試みました。しかし、奏楽の音声が非常に聞き苦しく、急遽、黒川夫妻の紹介で小川好司音響技師に改善を依頼したところ、資材(マイク、コンバータ等)を無償提供してくださり、年明けの1月8日には現在のような音声に改善され

ました。しかし、取扱いが荻原執事に限定されてしまい、荻原執事の負担軽減のために礼拝チームが引き継ぐことにし、手順書を5月9日に完成させ、パソコン経験者なら対応出来るようにしました。しかし、スタッフに応募してくださる方がなかなかおらず難航しました。

中継時のカメラアングルは出席者の目線とし固定しました。なお陪餐時だけは参列できない方々に当日の参列者の元気な姿をお届けしたく、カメラを左右にターンする等、多少の工夫はしました。

一方、配信者が礼拝に集中して画面移動が遅れたり、カメラの移動速度が速すぎて視聴者が目が回りそうになったこともあったようです。

東京教区の配信は2021年10月24日で終了しました。三光教会が今年5月7日まで継続できたのは、ひとえに小川音響技師が2021年から配信終了後、反省点を指摘、時には不具合を現地対応してくださったお陰です。また、動画配信が何よりも楽しみでした。声にも励まされました。配信担当の荻原充執事、牟田実兄、伊藤良

子姉、ドミニク兄、そしてインフラ構築では宮繕、情報チームに感謝です。また、個人的には動画配信を習得する機会が与えられたことに感謝しております。

礼拝動画の配信を中止

十主の平和がありますように新型コロナウイルス感染症の拡大による対応として主日の礼拝動画配信を行なつてまいりましたが、配信機材の問題と配信担当スタッフへの負担が大きいため、5月8日の季節性インフルエンザなどと同様の5類感染症への移行を機に、配信は先週(5月7日の主日)をもって終了とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

三光教会

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■ 主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 10:30 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■ 平日礼拝

毎朝6:30の早祷に引き続き
月、水、金は朝の礼拝、
火、木、土は聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2023年5月号(第713号)

発行者：司祭 金 大原 編集・印刷：三光教会広報委員会